

平成29年度高山村会計決算の概要

平成29年度の主要事業 高山ふれあいパーク整備事業



大型複合遊具



健康遊具



パーク内遊歩道



幼児向け遊具

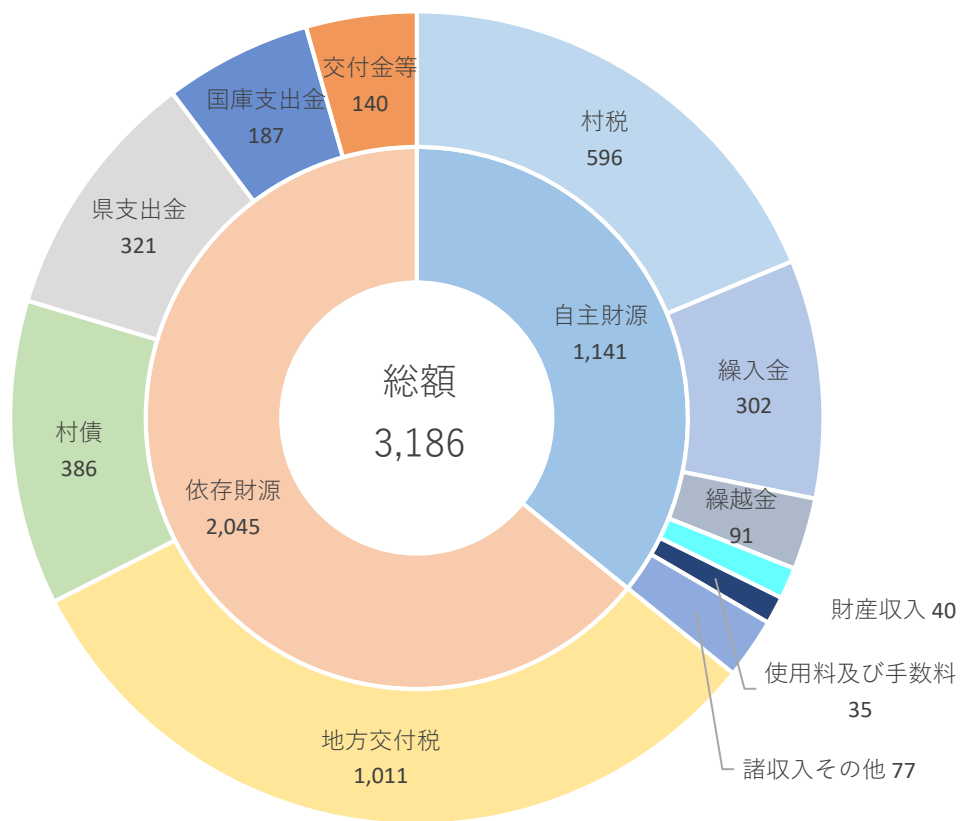
平成30年10月
群馬県高山村総務課

平成29年度一般会計決算（歳入）

○自主財源は、固定資産税の大幅な増加や財政調整基金の繰入により、前年度費+3億27百万円となりました。

○依存財源は、村税の大幅な増加に伴い地方交付税の減少がありました。高山ふれあいパークや防災行政無線デジタル化整備のために借り入れた村債、また、介護老人保健施設への補助金などの県支出金の増加により、前年度費+2億62百万円となりました。

（単位：百万円、％）



区分	H29年度 決算額	H28年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
自主財源	1,141	814	327	40.2
村税	596	456	140	30.7
繰入金	302	3	299	9966.7
繰越金	91	135	▲44	▲32.6
財産収入	40	47	▲7	▲14.9
使用料及び手数料	35	36	▲1	▲2.8
諸収入その他	77	137	▲60	▲43.8
依存財源	2,045	1,783	262	14.7
地方交付税	1,011	1,201	▲190	▲15.8
村債	386	89	297	333.7
うち臨時財政対策債	68	82	▲14	▲17.1
県支出金	321	185	136	73.5
国庫支出金	187	171	16	9.4
交付金等	140	137	3	2.2
合計	3,186	2,597	589	22.7

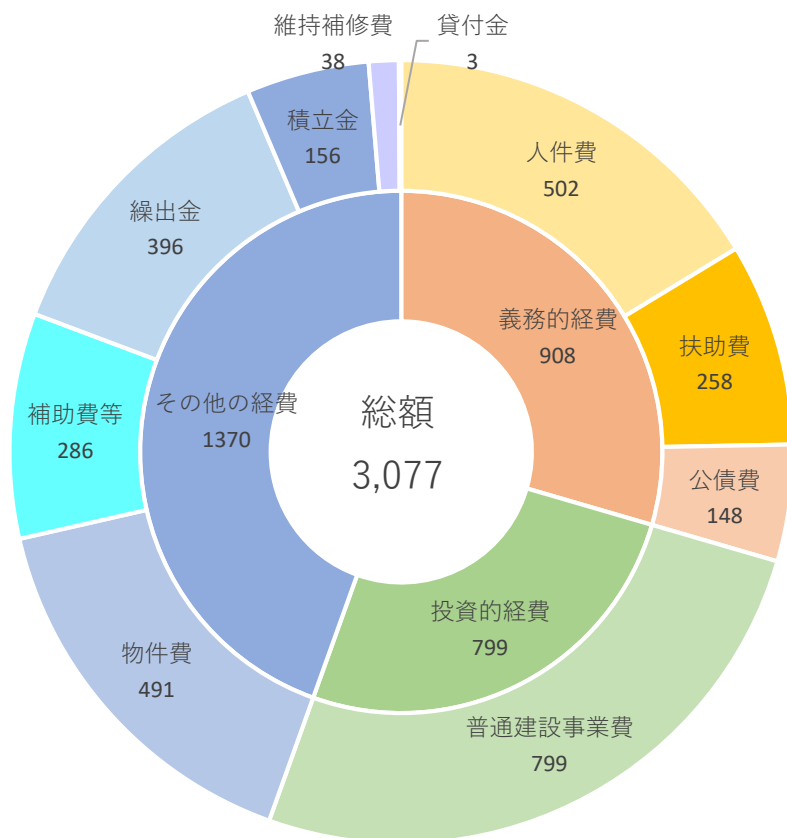
実質的な交付税	1,079	1,283	▲204	▲15.9
---------	-------	-------	------	-------

平成29年度一般会計決算（歳出・性質別）

○義務的経費は、事業債の償還完了などにより公債費は減少しましたが、人件費及び扶助費で増加となったことから、前年度比+11百万円となりました。

○投資的経費は、高山ふれあいパーク整備や防災行政無線のデジタル化などの大型事業と介護老人保健施設建設のための補助金支出などにより、前年度費+4億96百万円となりました。

○その他の経費は、簡易水道事業特別会計の建設改良のための操出金などの増加などにより、前年度費+63百万円となりました。



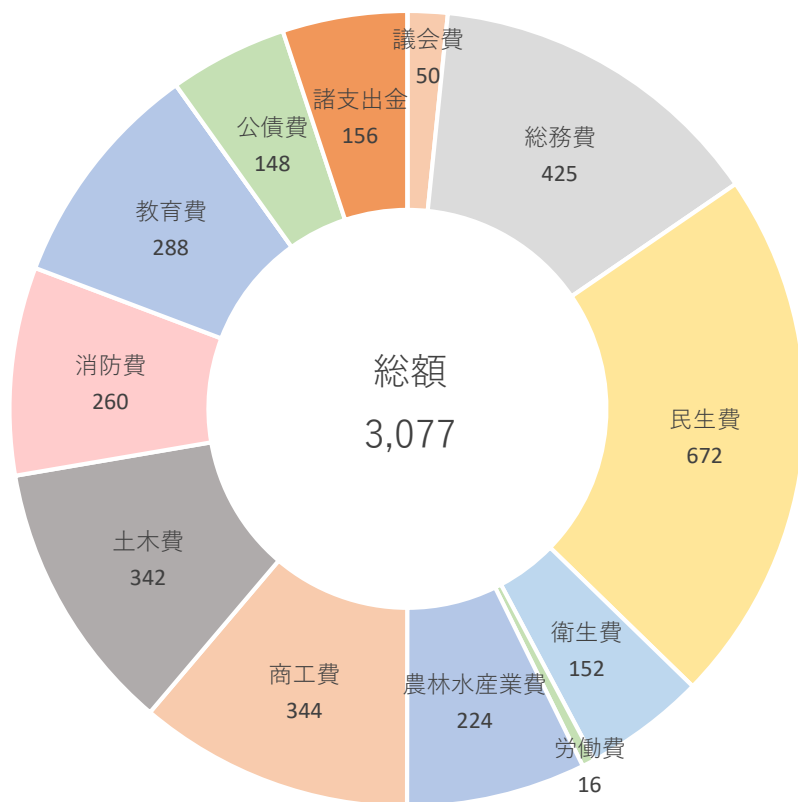
(単位：百万円、%)

区 分	H29年度 決算額	H28年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
義務的経費	908	897	11	1.2
人件費	502	491	11	2.2
扶助費	258	249	9	3.6
公債費	148	157	▲9	▲5.7
投資的経費	799	303	496	163.7
普通建設事業費	799	303	496	163.7
その他の経費	1,370	1,307	63	4.8
物件費	491	493	▲2	▲0.4
補助費等	286	292	▲6	▲2.1
繰出金	396	324	72	22.2
積立金	156	156	0	0.0
維持補修費	38	39	▲1	▲2.6
貸付金	3	3		
合計	3,077	2,507	570	22.7

平成29年度一般会計決算（歳出・目的別）

- 民生費は、介護老人保健施設の補助金支出や後期高齢者医療負担金の増加などにより、前年度費+1億72百万円となりました。
- 消防費は、防災行政無線のデジタル化や消防車更新などにより、前年度費+1億66百万円となりました。
- 土木費は、橋りょうの長寿命化工事や道路舗装工事などにより、前年度費+1億14百万円となりました。
- 商工費は、高山ふれあいパークや道の駅の周辺整備などにより、前年度費+1億13百万円となりました。
- 農林水産業費は、水源林整備やぐんま緑の県民基金事業の減少などにより、前年度費▲50百万円となりました。

（単位：百万円、％）



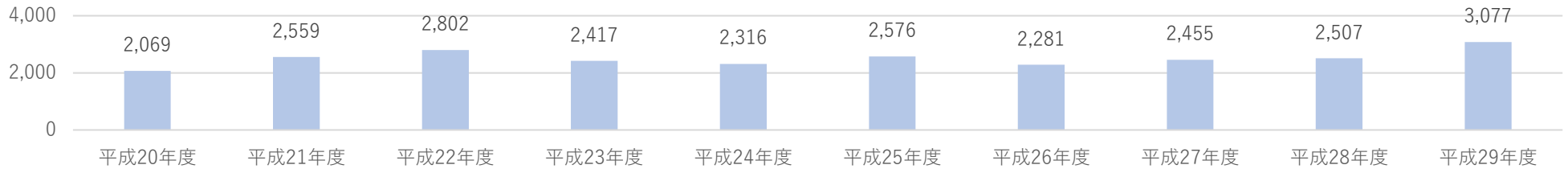
区 分	H29年度 決算額	H28年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
議 会 費	50	50	0	0.0
総 務 費	425	424	1	0.2
民 生 費	672	500	172	34.4
衛 生 費	152	164	▲12	▲ 7.3
労 働 費	16	14	2	14.3
農 林 水 産 業 費	224	274	▲50	▲ 18.2
商 工 費	344	152	113	74.3
土 木 費	342	228	114	50.0
消 防 費	260	94	166	176.6
教 育 費	288	294	▲6	▲ 2.0
災 害 復 旧 費	0	0	0	
公 債 費	148	157	▲9	▲ 5.7
諸 支 出 金	156	156	0	0.0
予 備 費	0	0	0	
合 計	3,077	2,507	570	22.7

各会計の歳出決算額の推移

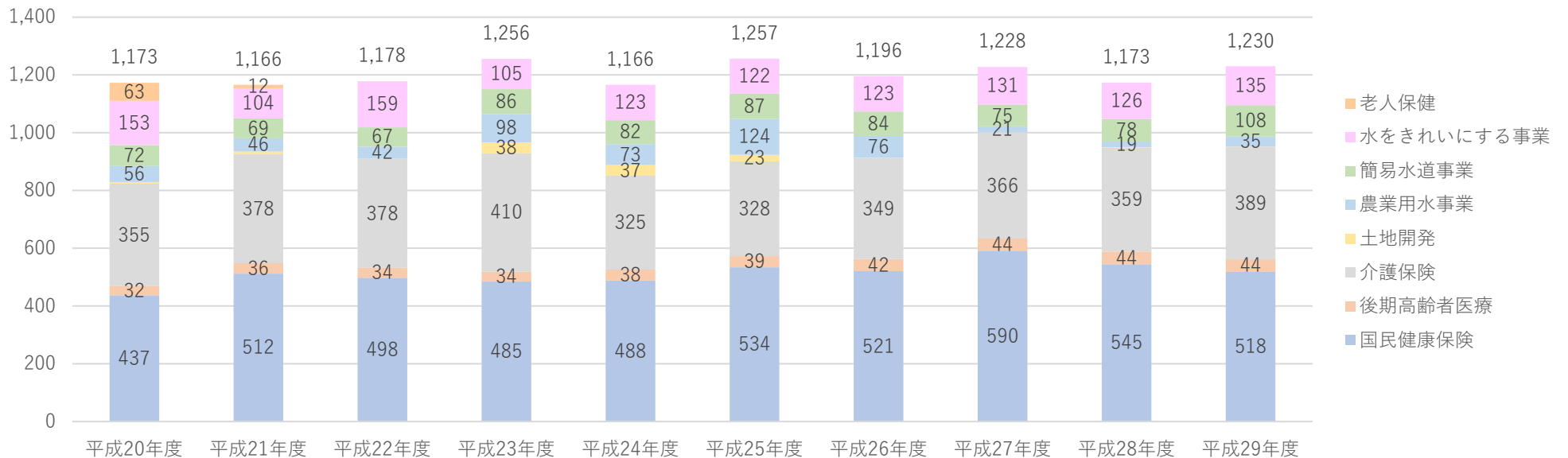
○一般会計は、平成20年度以降で一番大きな規模で前年度費+22.7%、+5億70百万円の30億77百万円となりました。

○特別会計は、国民健康保険で減少となりましたが、介護保険、簡易水道、農業用水事業、水をきれいにする事業で増加となりました。介護保険については、保険給付費の増加、簡易水道事業については、水道管の布設替えなどの建設改良費が増加しました。

一般会計



特別会計

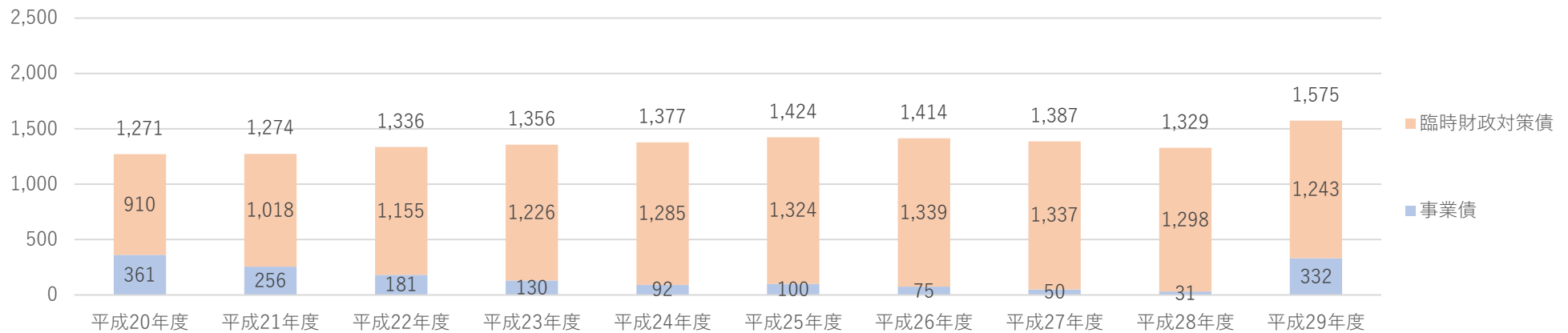


村債の推移

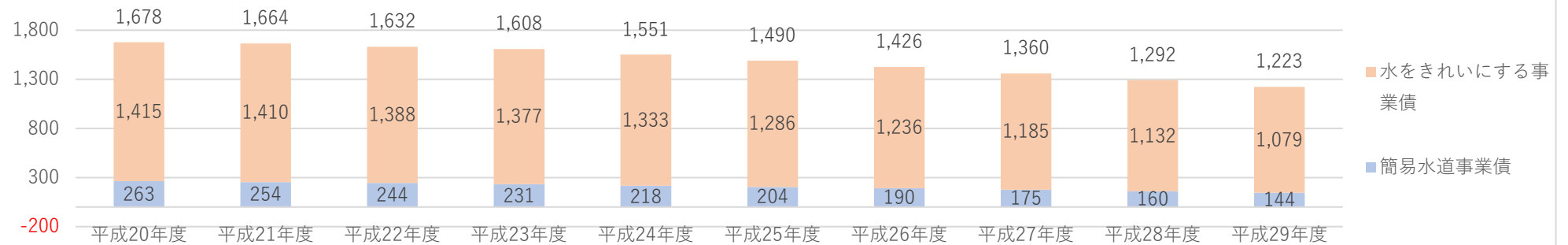
○一般会計債は、高山ふれあいパークや防災行政無線のデジタル化などにより事業債が増加し、臨時財政対策債は、借り入れる額より返済する額が大きいため減少しました。

○公営企業債は、簡易水道事業と水をきれいにする事業ともに新たな借入がないため減少しました。

一般会計債



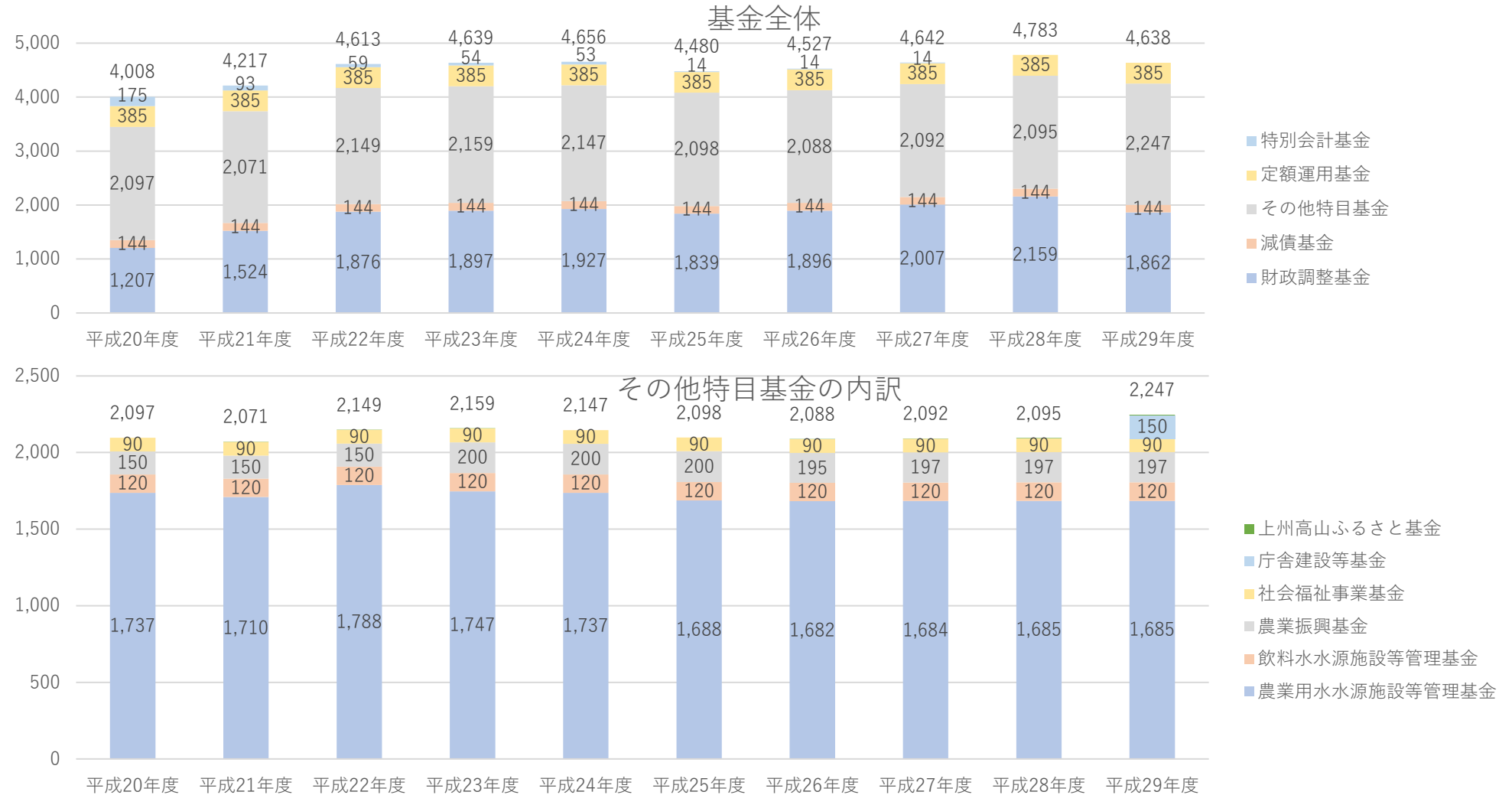
公営企業債



基金の推移

○財政調整基金は、普通交付税の減少や庁舎建設等基金への積立て、事業の一般財源分など歳入の不足を補うため2億97百万円の取崩しを行い、残高は18億62百万円となりました。

○その他特目基金は、耐震性の低い役場庁舎の耐震化対策として1億50百万円の積立てを行い、残高は1億50百万円となりました。



平成29年度の主要事業

高山ふれあいパーク整備事業

(2億4,463万円)



平成28年度、29年度の2ヶ年事業として国の社会資本整備総合交付金を受けて整備を行い、平成30年4月1日にオープンしました。村民の憩いの場として幼児から高齢者まで楽しめる公園をコンセプトに、子育て世代のふれあいや世代間交流、健康増進への寄与、また、道の駅を訪れる観光客の集客を上げ、高山村の知名度アップを目的としています。

高山村PR動画「DISCOVER TAKAYAMA GUNMA」

(302万円)



村への誘客促進を目的として、PR動画を作成しました。高山村の自然が創り出す風景や伝統文化、人々の暮らしを追う中で、高山村の魅力を「DISCOVER=再発見」できるような内容となっています。道の駅での上映、高山村HPへのバナー設置、SNSでの発信を行っています。3ヶ国語対応しているので、インバウンド向けPRのツールとして活用しています。

平成29年度の主要事業

中学生海外派遣事業

(1,318万円)

外国の生活や文化を体験することで、語学力の向上や国際性を養うことを目的として、希望する中学2年生を7日間の日程でオーストラリアシドニー市に派遣を行いました。

平成29年度は、27名が参加し外国の生活や文化を体験してきました。

防災行政無線デジタル化事業

(1億6,025万円)

防災基盤の強化による防災力の向上を目的として、防災行政無線のデジタル化工事を実施しています。平成29年度は操作卓や屋外子局、戸別受信機などの機器製作等を行い、平成30年度は製作した機器の設置を実施します。

英語及び漢字検定推進事業

(54万円)

英語及び漢字の基礎的な知識の習得を促すため、中学生を対象として、検定に係る費用について補助を行いました。

平成29年度は英語検定で延べ82名、漢字検定で延べ115名の生徒が検定に望みました。

消防自動車更新事業

(882万円)

地域消防力の維持及び強化を目的として、老朽化した消防自動車1台の更新を行いました。更新に当たっては新型免許制度の対応や狭い道でも迅速に火災現場に到着できるよう軽自動車ベースの小型ポンプ付消防自動車としました。

橋りょう長寿命化事業

(7,792万円)

橋りょうの長寿命化修繕計画に基づく点検及び長寿命化工事を行い、安全安心な道路ネットワークの確保を図っています。平成29年度は、関田地内の関田橋及び熊野地区と火の口地区にまたがる殿田橋の長寿命化工事と長寿命化工事のための詳細設計を行いました。

総合計画マネジメント診断事業

(113万円)

村の最上位計画である総合計画をより実効性のあるものとし、行政サービスの質的な向上や合理的な行政経営を図るため、予算・行政評価・分野別計画・実施計画等の各システムの仕組みを効果的に連動させた行政経営基盤を構築に必要な調査分析を行いました。